

あいち農産物生産流通レポート

平成24年2月号

情報サロン		
・「農商工連携ビジネスフェア」を開催します	(食育推進課)	1
地域トピックス		
・「第64回関西茶業振興大会愛知県大会」が開催されました	(西三河農林水産事務所)	2
東日本情報		
・東京世田谷の量販店において 旬菜・旬花 まるごと「あいち」交流会 「あいちの農産物トップセールスin東京」を開催しました	(東京事務所)	3
西日本情報		
・あたらしいみかんのむきかたワークショップを開催しました	(園芸農産課)	5
フラワーページ		
・「フラワーマルシェ~とっておきの花いちば~」を開催します	(園芸農産課)	6
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		8
・名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し		9
花 き		
・切花・鉢花の2月の見通し(県内市場)		2 1
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2011年11月)		2 5
関連指数		2 6

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

『農商工連携ビジネスフェア』を開催します

「地産地消」を推進し、県産農林水産物の消費拡大を図るため、「農商工連携ビジネスフェア」を開催します。

このビジネスフェアは、生産者や食品製造業者など、幅広い分野の事業者が、愛知県産の農林水産物やその加工品を持ち寄って情報交換や商談を行い、新商品の開発や新たな販路の開拓に取り組むものです。

今回は、82企業・団体が出展するのに加え、7企業・団体が自社商品等を紹介するプレゼンテーションを実施し、ビジネスパートナーの発掘を目指します。

また、海外での日本産食品事情を紹介する「中国・上海食品市場セミナー」もあわせて開催します。



昨年度の会場風景

1 開催日時

平成24年2月16日(木) 正午から午後4時まで

2 会場

アイリス愛知 2階(名古屋市中区丸の内2-5-10)

3 内容

(1) 展示会

・愛知県産農林水産物及びその加工品等の展示・紹介

(2) プレゼンテーション

新たな連携先の開拓を目指して、7企業・団体が自社の取組みや商品の紹介を行います。

(3) 「中国・上海食品市場セミナー」

「 - 中国・上海におけるマーケティング調査を踏まえて -

今、中国では、どんな日本食品を求めているか! 」

愛知県農林水産部食育推進課 主任主査 田所 勉

「 - 愛知県産食材を使った食品の輸出の可能性を探る -

これからの中国への食品輸出の拡大に向けて! 」

易意(上海)貿易有限公司 代表取締役社長 樽家邦興

4 参加費

無料

5 参加資格

地産地消や農商工連携等に関心をお持ちの事業者の方ならどなたでも参加いただけます。消費者個人の参加はご遠慮願います。

6 問い合わせ先

愛知県農林水産部食育推進課 消費・食品表示グループ

電話052-954-6434(ダイヤル)

「第64回関西茶業振興大会愛知県大会」が開催されました

11月19日(土)に西尾市文化会館で第64回関西茶業振興大会愛知県大会が開催されました。

本大会は、関西地区の7府県で生産されるお茶の生産技術や品質の向上と、お茶の国内需要の増進や日本茶業の発展を目的に毎年開催されており、愛知県で9年ぶり、西尾市では17年ぶりの開催となりました。

大会に先立ち関西茶品評会が8月3日(水)から5日(金)にかけて開催され、普通せん茶、深蒸しせん茶、かぶせ茶、玉露、てん茶の5種類、572点(うち本県186点)の審査が行われました。本年は春先の低温により、一番茶の摘採が遅れるなど厳しい年でしたが、本県からは、てん茶の部で磯貝昌徳氏(西尾市)と、かぶせ茶の部で二村勝氏(豊田市)の2名が農林水産大臣賞、西尾市てん茶の部と豊田市かぶせ茶の部が、茶種別の産地賞第1位を受賞しました。

大会当日は、雨の降るあいにくの天候でしたが、県内外からの招待者、生産者が多数来場され、式典で小川副知事から、受賞者へ褒賞が授与されました。

また、会場において、西尾茶協同組合主催による「西尾の抹茶の日」イベントが開催され、段ボールで再現した犬山市の国宝茶室「如庵」(西尾市出身の建築家 故山田幸司 作)が来場者の目を引いていました。その他、「茶フェ」、パネル展示、あいちのお茶のPR販売なども行われ、盛大な大会となりました。



大会式典



段ボール茶室 如庵

東京世田谷の量販店において
旬菜・旬花 まるごと「あいち」交流会
「あいちの農産物トップセールス in 東京」を開催しました

平成24年の年明け早々、寒さが続く1月14日(土)に、「あいちの春野菜フェア」と題して、東京都世田谷区の二子玉川ライズ・ショッピングセンター地下1階の東急ストア二子玉川ライズ店において、大村愛知県知事、倉内JAあいち経済連会長(以下:倉内会長)によるトップセールスを開催しました。トップセールスは今年で4年目となりますが、大村知事就任後初となる今回は、本県の農産物を多く出荷している大消費地東京の量販店で、知事が先頭に立って、全国一の生産量をキャベツ、おおばなどの野菜やバラなどの花きを直接消費者にPRしました。

二子玉川地区は、東京でも、近年、若い家族層を中心に大変活気のある街として注目を集めているところです。会場は、昨年3月にオープンしたばかりの新しいショッピングセンターで、溢れんばかりの人で大変賑わい、本県産の農産物に対する関心の高さが伺えました。

当日、正午より、大村知事から、本県産農産物のより一層の利用を会場に駆けつけていただいた来場者に直接呼びかけました。

また、知事と戦国姫隊(江とまつ)との掛け合いで本県農産物のPRを行い、来場者の方々からも笑いが出る和んだ雰囲気イベントとなりました。



直接、来場者に語りかける大村知事



知事と戦国姫隊によるPR風景



花束とうずらの燻製のプレゼント

理」と題して、料理の実演（デモンストレーション）と試食会を行いました。多くの来場者が熱心にレシピを見ながら聞き入る姿が印象的でした。

会場（売り場）には、キャベツ、ふき、ブロッコリー、いちご等、この時期の愛知県を代表する野菜、果物が、ところ狭しと並べられ、お値打ち価格での販売とあって、大変な賑わいでした。

また、花きについても、一足早く春をイメージするスイトピー、ガーベラやカーネーションなどが飾られ会場を彩っていました。

このイベントに併せて、東急ストアの協力により首都圏の東急ストア82店舗において、1月14日（土）から17日（火）までの4日間にわたり「愛知県春野菜フェア」を開催しました。

この一連のイベントでは、多くの首都圏の消費者に対して効果的に本県産の農産物をPRできたのではないかと思います。

トップセールスも4年目となり首都圏における愛知の認知度は以前よりも向上していると思われますが、今後も継続していくことが消費の拡大には大切な要素であると考えます。

その後、来場者に大村知事、倉内会長がひとり一人と会話をしながら、愛知県産の切花（カーネーションとスプレーマム）で作った花束と、うずら卵の燻製をプレゼントしました。

また、関連イベントとして、午後2時と4時の2回、野菜ソムリエによる本県産野菜を使った「誰にでも簡単・手軽にできる一品料理」と題して、料理の実演（デモンストレーション）と試食会を行いました。



野菜ソムリエによる調理実演

あたらしいみかんのむきかたワークショップを開催しました

愛知県のみかん生産

愛知県では、みかんなどの常緑果樹から、かき、なしなどの落葉果樹まで多くの種類の果樹が栽培されています。その中で、最も栽培面積の大きい品目はみかんです。平成21年産の収穫量は31,900t、産出額87億円(全国第6位)で、愛知県はみかん主産県の一つに数えられます。

みかんの消費と「あいちのかんきつフェア」の開催

総務省「家計調査」によれば、平成22年のみかんの1人当たり購入量は4.1kgで、昭和50年の20.7%まで落ち込んでいます。

このような状況を打破し、みかんを始めとしたかんきつの消費拡大を図るために、愛知県では、愛知県果樹振興会と協力し、平成21年度から「あいちのかんきつフェア」を開催しています。3年目となる本年度は、12月3日(土)に名古屋市栄の中日ビルで開催しました。当日は、美味しくてお値打ち価格のみかんの即売に加え、新たに体験型のイベント「あたらしいみかんのむきかたワークショップ」を実施しました。

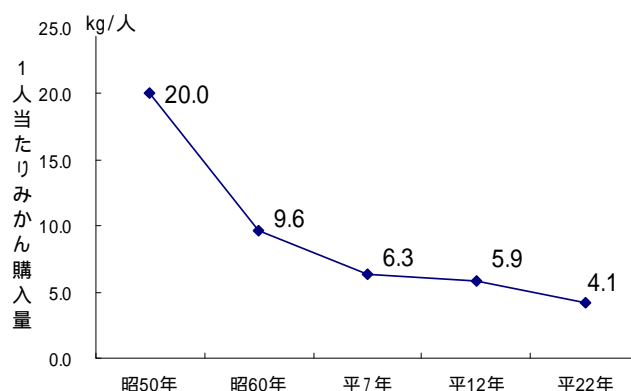


図 みかん1人当たり購入量の推移

出典：総務省「家計調査」。1人当たり購入量は、1世帯当たり購入量(二人以上の世帯)を平均世帯員数で除して算出

「あたらしいみかんのむきかたワークショップ」

このワークショップは、ただ単にみかんの皮をむくのではなく、楽しく動物の形に皮をむき、アートとして楽しむ方法を学ぶもので、平成22年11月に発刊され、話題となった児童向け工作絵本「あたらしいみかんのむきかた(小学館)」の著者である岡田好弘さんを講師に迎えて開催したものです。

講師の岡田さんの指導のもと、小学生を中心とした参加者約50名は、ペンでみかんに下絵を描き、カッターを使ってみかんの皮をウサギとスズメの形にむく方法を体験しました。中には、以前からこの本のファンで練習をしてきた熱心な参加者もいました。

ワークショップ終了後、早速みかんを買いに走る参加者もあり、即売だけでなく、みかんの新しい楽しみ方を消費者に伝えることができ、みかんの消費拡大に一役買うことができたと考えています。



ワークショップの様子



参加者作の力作“ウサギ”

「フラワーマルシェ～とっておきの花いちば～」を開催します

花の楽しみは、目で見るだけではありません。装いに取り入れる、香りをまとう、食に加える...花は私たちの生活に深く関係しています。花を手にした人は笑顔になり、周りを温かい気持ちにさせてくれます。人と人をつなぐ。それもまた花が果たしてきた大きな役割です。

「フラワーマルシェ」では、暮らしに取り入れたい花や、自分や大切な人への贈り物としての花を提案します。



フラワーマルシェ公式ホームページ <http://www.flowermarche.com/index.html>

- 1 会 期
平成 24 年 2 月 10 日(金)-13 日(月) 9:30 - 17:00 (入場は 16:30 まで)
- 2 会 場
名古屋市中心企業振興会館・吹上ホール(名古屋市千種区吹上 2-6-3)
地下鉄桜通線「吹上」駅(名古屋駅から 13 分)下車、5 番出口より徒歩 5 分
- 3 主 催
フラワーマルシェ実行委員会
(構成)愛知県、名古屋市、中日新聞社、東海テレビ放送
愛知県花き温室園芸組合連合会、名古屋国際蘭展組織委員会
- 4 入場料(*高校生以下無料)
前売り 800 円(500 円のお買い物券付)
当 日 1,000 円(500 円のお買い物券付)
600 円(入場券のみ)
*主要プレイガイド等で販売しています
<http://www.flowermarche.com/206916.html>



5 内 容

(1) 花に囲まれショッピング

フラワーアレンジやハンギングバスケットで彩られた会場に、切り花や鉢植えなどの生花や、園芸グッズや肥料、花を使った化粧品や食品、衣料、雑貨に至るまで、「花」

をキーワードに集まった様々なショップが来場者を迎えます。

(2) 花の見どころ盛りだくさんの主催者企画

ア 屋内・屋外で明日から取り入れたい「暮らしを彩る花」を提案します。

イ 来場者に楽しんでいただける記念写真スポットを用意します。

(ア) 春を先取り～チューリップの花園～

(イ) 一度はもらってみたい～100本のバラ～

ウ MUM48(マム・フォーティーエイト)が新しいキクの世界を魅せます。

MUM(マム)とは、キクの意味です。愛知で、日本で最も多く生産されている花であるキクの新たな使い方を提案します。

(3) 最高級の花が揃うフラワーコンテスト

主催者である愛知県花き温室園芸組合連合会と名古屋国際蘭展組織委員会が、自慢の花を持ちより、その品質を競い合います。

(4) ステージイベント

クイズやトークショーで、花にまつわる情報を「学」びながら、「楽」しめます。

(5) 体験コーナー(当日受付)

大人も子供も参加できる、フラワーアレンジや寄せ植え教室を日替わりで企画しています。

「フラワーバレンタイン」を楽しもう

日本におけるバレンタインデーは「女性から男性へチョコレートで愛を伝える日」とされ久しいですが、世界におけるバレンタインデーは、男女がお互いに愛や感謝の気持ちを伝えあう日です。

世界では、バレンタインデーに男性から女性へ「花」を贈ることが定着している国がいくつもあります。(http://www.flower-valentine.com/about/feature2.html)

「フラワーマルシェ」では、「おすすめの花束販売」などを企画し、「フラワーバレンタイン」の日本での普及・定着を目指します。

6 最後に

10年以上続いた「フラワードーム」をリニューアルし、新たな花と緑のイベントとして、この「フラワーマルシェ」を企画しました。花の好きな人だけでなく、ファミリーやカップルなど、全て来場者の方々に花の魅力に出会っていただき、一層の花の需要拡大に繋がるイベントにしたいと思えます。

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋市中心卸売市場（品目：ブロッコリー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
23年実績	5,765	2,032 (35%)	334	264	愛知 (35%) 北海道 (21%) 長野 (10%)
24年見通し	5,500	—	300～ 350	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
田原市、豊橋市など東三河地域を中心に、稲沢市、名古屋市などから入荷。 12月に入って全国的に冷え込む日が多い上に干ばつが続き、生育状況があまり良くないが、今後の天候次第で回復する見込み。 作付面積はほぼ前年並み。			品種は「ピクセル」が中心で、新たな品種の試験は行われているが、慣行の品種が主に使われている。 5年ほど前に知名度が上がり消費が拡大したが、それ以降は現状維持が続いている。 冬場に入荷量が増え、また消費も伸びる品目であるため、そこに焦点を当てて消費宣伝を行いたい。		

○ 東京都中央卸売市場（品目：ブロッコリー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
23年実績	2,000	974 (49%)	316	295	埼玉 (15%) 米国 (7%) 香川 (6%)
24年見通し	2,000	900 —	300	300 —	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
この時期の入荷は愛知が約半分近くを占め、次いで埼玉が続く。愛知は低温、干ばつの影響で生育に遅れが見られるが、2月後半には回復する見込み。他産地も同様の傾向で、香川からも関東への出荷は少ない見込み。 入荷量は少なかった前年並を見込み、価格は前年をやや下回る見込み。			ブロッコリーは栄養価の高い食材として消費者の購買意欲も高く、量販店にとっても年間を通して目玉商品となる商材である。 本県産は数量もあり、品質面でも色、形状、株の揃い等で他産地に比べ高い評価を受けているので、今後とも安定した数量の出荷と品質維持をお願いしたい。		

名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し

名古屋市中央卸売市場

1月17日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	19年	32,632	181	177	186	愛知 30%	
	20年	34,090	196	205	217	北海道 19%	
	21年	34,624	186	178	171	鹿児島 7%	
	22年	31,242	217	221	212	静岡 6%	
	23年	29,898	229	238	231		
	5カ年平均	32,497	-	-	-		
	24年見通し	30,900	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は愛知、北海道。土物類は北海道を中心にまずまずの出荷見込み。果菜類は低温の影響で出荷が遅れている。 入荷量は前年をやや上回り、価格はかなり下回る見込み。							
だいこん	19年	1,786	52	43	56	62	静岡 58%
	20年	1,984	71	63	72	79	徳島 17%
	21年	2,068	63	67	58	66	神奈川 8%
	22年	1,867	85	85	88	81	愛知 7%
	23年	1,864	89	88	99	79	
	5カ年平均	1,914	72	69	74	73	
	24年見通し	1,900	80	80	80	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は静岡、徳島、神奈川、愛知。2月中旬から下旬にかけて春だいこんへ移行するため、境目の時期となり相場が上がる可能性がある。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。							
にんじん	19年	2,917	48	46	46	55	愛知 90%
	20年	2,834	100	86	103	112	鹿児島 8%
	21年	2,387	95	96	93	98	熊本 1%
	22年	2,260	72	71	71	75	中国 1%
	23年	2,140	136	126	142	144	
	5カ年平均	2,508	88	83	89	95	
	24年見通し	2,100	120	120	120	120	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は愛知、鹿児島。愛知は11月から12月にかけての播種時期の天候が曇りが多く、雨も少なかったため、生育状況があまり良くない。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

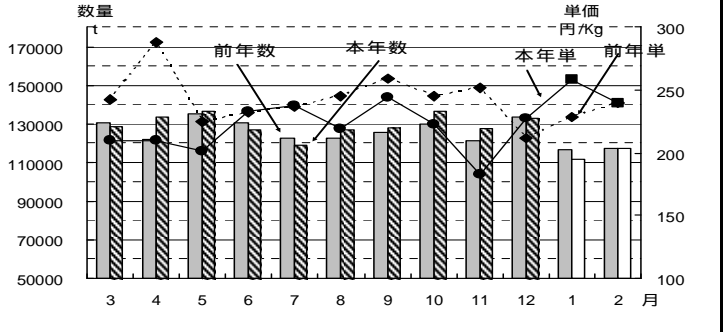
1月23日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
			上旬	中旬	下旬	
野菜	19年	115,881	198	198	202	千葉 17%
	20年	123,759	234	231	244	茨城 14%
	21年	124,154	205	197	204	北海道 10%
	22年	116,832	241	248	241	愛知 9%
	23年	117,364	240	245	237	(愛知産比率 9%)
計	5カ年平均	119,598	224	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	117,000	240	-	-	

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

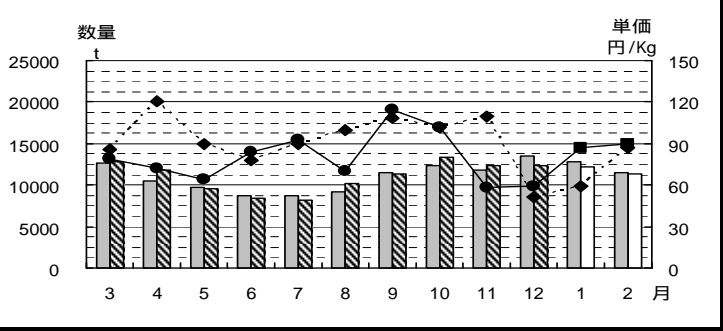
関東産地からの入荷が中心で、果菜類は西南暖地が増え、土物類は北海道からの入荷となる。品目、産地により、作柄はまちまちだが、昨年同様干ばつや寒波の影響が見受けられる。
入荷量は前年並で、価格についても前年並が見込まれる。



だい こ	19年	11,227	54	48	55	63	神奈川 63%
	20年	12,362	78	72	80	84	千葉 33%
	21年	12,120	68	73	64	66	徳島 2%
	22年	11,631	99	94	111	89	静岡 1%
	23年	11,574	87	85	100	76	(愛知産比率 0%)
ん	5カ年平均	11,783	77	75	82	76	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	11,300	90	90	90	90	

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

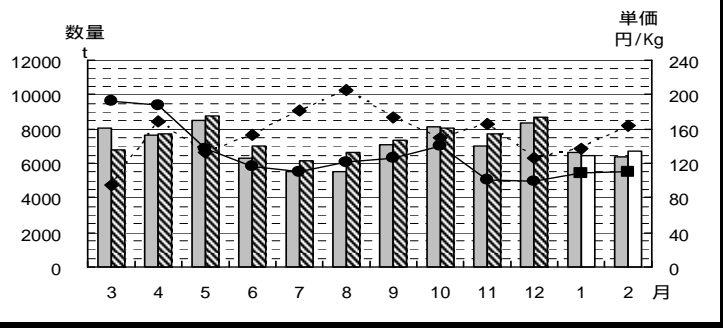
関東産地からの入荷が中心となる。神奈川、千葉の各産地ともに昨年同様、寒波と干ばつで肥大が若干悪くなっているが大きな影響はない。
入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。



に ん じ ん	19年	6,784	53	51	51	59	千葉 72%
	20年	6,880	128	116	131	136	埼玉 9%
	21年	6,930	113	120	107	111	茨城 4%
	22年	6,940	83	74	86	93	中国 3%
	23年	6,408	164	158	174	162	(愛知産比率 3%)
ん	5カ年平均	6,788	108	103	109	112	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	6,700	110	110	110	110	

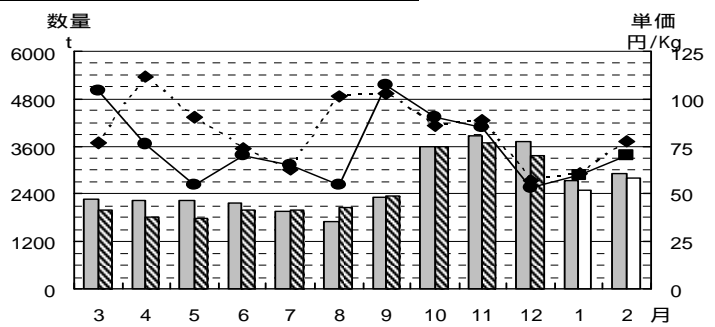
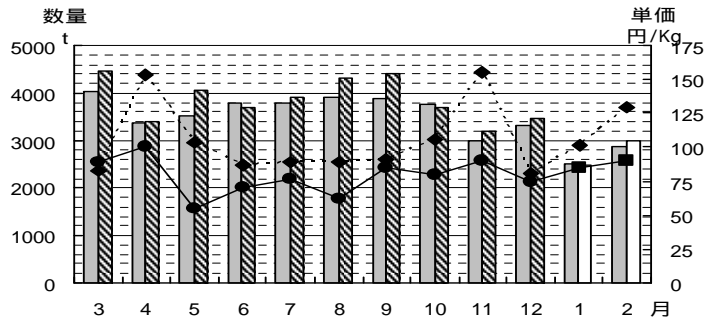
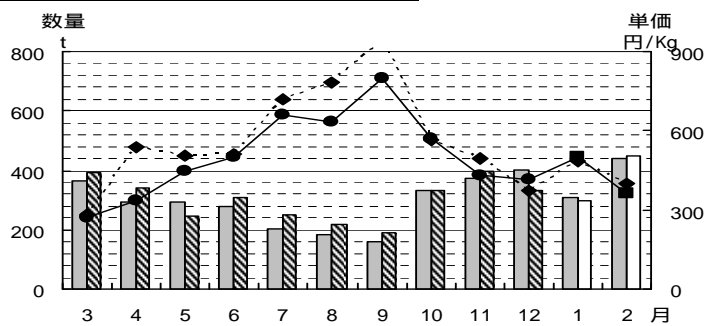
**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

前月に続き千葉、埼玉などの関東産地からの入荷が中心となる。千葉の生育は寒波等の影響は見られず順調な生育。埼玉も同様で順調な出荷が見込まれる。
入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回るものの前年並の見込み。



名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量		卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
				上旬	中旬	下旬			
ほうきさい	19年	2,757	54	49	55	62	愛知	43%	
	20年	3,214	79	63	78	96	茨城	22%	
	21年	2,780	79	77	78	83	兵庫	22%	
	22年	2,930	70	68	75	67			
	23年	2,900	78	68	85	86			
	5ヵ年平均	2,916	72	65	74	79	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
24年見通し	2,800	75	70	75	80				
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、茨城、兵庫。どの産地も作付面積が若干減少している。この時期は鍋料理の需要があるが、今後気温が上がると消費がにぶる可能性がある。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
キャベツ	19年	3,010	51	50	54	47	愛知	93%	
	20年	3,118	95	77	101	108	茨城	2%	
	21年	3,236	86	86	80	92	鹿児島	2%	
	22年	2,910	111	108	114	111			
	23年	2,877	129	126	135	125			
	5ヵ年平均	3,030	94	89	96	96	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
24年見通し	2,900	100	100	100	100				
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知中心。12月の低温、干ばつの影響で根の張りが弱く浅いため、生育不良となっている。 入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
ほうれんそう	19年	493	264	356	198	238	愛知	87%	
	20年	457	387	364	394	408	茨城	6%	
	21年	527	241	267	199	268	群馬	3%	
	22年	471	401	441	387	360	福岡	1%	
	23年	439	398	488	405	314			
	5ヵ年平均	477	334	379	311	315	前年及び本年の入荷量・価格の動き		
24年見通し	450	400	500	400	300				
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、茨城。11月の気温が高く、12月に前進出荷したため、1月入って入荷量が減り、価格も高値で推移した。2月に入れば出荷量も前年並みに戻り、今後は増加する見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並み見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	19年	9,847	29	65	62	57	茨城 71% 群馬 15% 兵庫 10% 埼玉 3% (愛知産比率 1%)
	20年	11,692	63	24	27	41	
	21年	11,563	62	46	62	85	
	22年	12,369	55	48	68	46	
	23年	12,562	68	57	79	71	
	5ヵ年平均	11,607	56	48	60	60	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	12,000	70	70	70	70		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城と群馬からの入荷が中心となる。茨城の生育は低温、乾燥で巻きが緩い状態だが出荷量はある見込み。群馬も概ね順調な集荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね5,000トン前後で推移し、単価は40円/kgから100円/kg程度の変動があります。</p>					
キャベツ	19年	12,716	54	53	56	53	愛知 58% 千葉 22% 神奈川 16% 茨城 2% (愛知産比率 58%)
	20年	13,094	98	81	103	114	
	21年	14,368	88	86	81	100	
	22年	13,475	116	114	118	116	
	23年	13,583	128	134	130	120	
	5ヵ年平均	13,447	97	94	98	101	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	13,000	120	120	120	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知と千葉、神奈川からの入荷が中心。愛知の生育は寒波や干ばつの影響で小玉傾向。適度な降雨があれば玉伸びしてくる。千葉、神奈川も寒波や干ばつで小玉傾向。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね15,000トン前後で推移し、単価は60円/kgから150円/kg程度の変動があります。</p>					
ほうれんそう	19年	1,900	299	316	275	308	群馬 25% 千葉 23% 埼玉 22% 茨城 21% (愛知産比率 0%)
	20年	1,852	389	429	365	375	
	21年	1,900	289	286	265	332	
	22年	1,756	425	421	479	366	
	23年	1,820	413	502	419	327	
	5ヵ年平均	1,846	361	389	358	341	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	1,800	380	400	380	360		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に引き続き関東産地からの入荷が大部分を占める。昨年同様、茨城、埼玉の生育は寒波の影響で一部がやや遅れぎみである。群馬、千葉の生育も概ね同様である。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は概ね1,000トン前後で推移し、単価は300円/kgから700円/kg程度の変動があります。</p>					

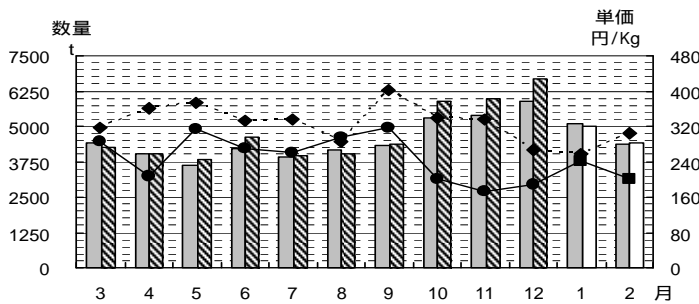
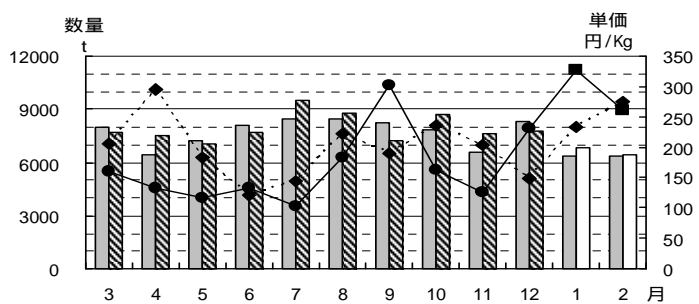
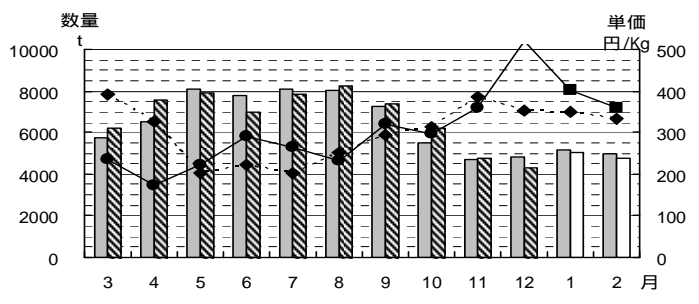
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ねぎ	19年	901	241	233	239	254	愛知 20%	
	20年	987	404	353	407	454	静岡 17%	
	21年	999	290	306	279	283	大分 17%	
	22年	980	378	352	425	355	群馬 11%	
	23年	856	423	401	444	433		
	5カ年平均	945	347	329	358	355	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	24年見通し	950	330	330	330	330		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/kg
		<p>主な産地は、長ネギは愛知、白ネギは静岡、大分、群馬。どの産地も低温や雪の影響で出荷が遅れている。今後2月に入れば遅れを取り戻す見込み。輸入ものの入荷も増えてきている。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>						
レタ	19年	1,634	218	243	222	176	兵庫 42%	
	20年	1,505	252	229	243	287	静岡 18%	
	21年	1,737	181	190	173	181	愛知 18%	
	22年	1,463	252	251	255	248	熊本 7%	
	23年	1,211	303	343	312	255		
	5カ年平均	1,510	236	246	236	226	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	24年見通し	1,350	250	250	250	250		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/kg
		<p>主な産地は兵庫、静岡、愛知、熊本。低温と干ばつの影響で全体的に小玉傾向。数量は前年が少なかったため、前年比では多いが、平年比では少なくなっている。価格は1箱3,000～3,500円程度。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>						
きゅう	19年	1,288	314	324	260	373	愛知 51%	
	20年	1,247	382	545	368	276	宮崎 21%	
	21年	2,316	221	166	233	276	高知 19%	
	22年	1,076	372	371	355	395	鹿児島 10%	
	23年	1,199	315	326	305	313		
	5カ年平均	1,425	305	319	292	318	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	24年見通し	1,200	350	380	320	350		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/kg
		<p>主な産地は愛知、宮崎、高知、鹿児島。2月上旬は節分需要で出荷量が増える見込み。中旬から下旬にかけては数量が上がると見られる。</p> <p>入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

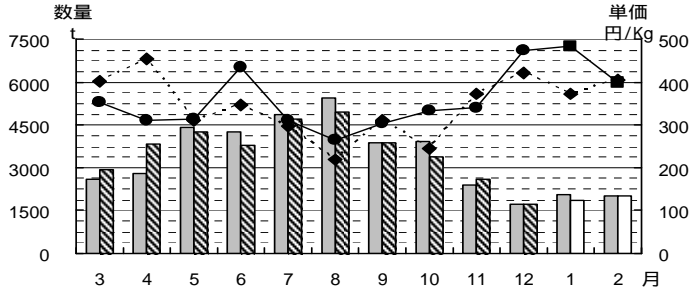
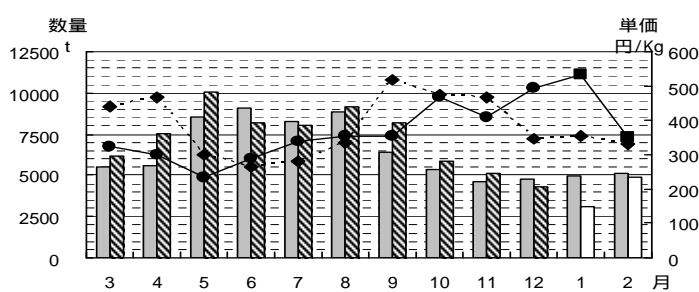
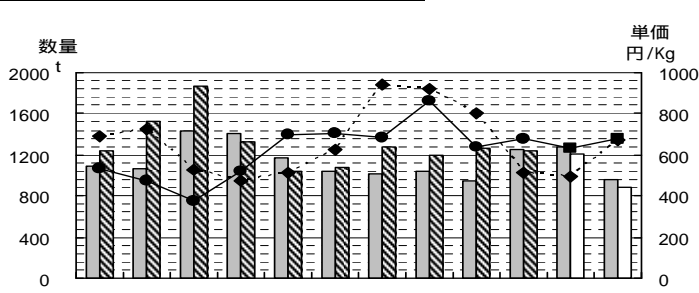
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	19年	4,583	145	139	144	154	千葉 38%
	20年	4,931	283	264	272	320	埼玉 25%
	21年	4,891	173	190	154	175	茨城 15%
	22年	4,389	333	279	414	304	群馬 9%
	23年	4,369	303	272	340	306	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	4,633	246	228	261	251	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	4,400	200	200	200		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		前月に続き関東産地からの入荷が中心となる。千葉の生育は寒さと乾燥で太りが今ひとつ。埼玉、茨城も寒さで量目不足となっている。しかし、各産地とも作付増があり出荷量が心配ない。 入荷量は前年並が見込まれ、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。					
しそ	19年	7,024	195	219	200	155	静岡 34%
	20年	7,086	231	208	224	268	香川 13%
	21年	7,859	174	187	160	177	千葉 9%
	22年	6,764	244	246	247	237	兵庫 8%
	23年	6,348	275	325	280	219	(愛知産比率 3%)
	5カ年平均	7,016	221	234	219	210	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	6,400	260	270	260	250	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		前月に続き静岡と香川中心の入荷となる。香川・静岡ともに1月の寒波の影響で上旬までは少ない出荷となるが、その後増量してくる見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。					
きゅうり	19年	4,909	330	340	277	391	千葉 23%
	20年	5,120	400	578	383	284	宮崎 23%
	21年	4,955	350	413	306	340	高知 16%
	22年	4,618	397	378	394	434	群馬 14%
	23年	4,939	334	338	333	331	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	4,908	362	411	338	354	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	4,800	360	400	370	420	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		前月に続き西南暖地と関東産地からの入荷が中心となる。関東産地は、日照量はあるものの、若干寒さ、乾燥の影響で出荷状況は回復していない。西南暖地も曇天続きのダメージが大きく少ない傾向は続く。 入荷量は前年をやや下回り、価格をかなり上回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	19年	576	339	375	322	313	愛知 54%
	20年	469	409	494	436	340	熊本 43%
	21年	539	319	364	296	298	高知 3%
	22年	474	384	400	383	369	静岡 0%
	23年	542	343	349	339	340	
す	5ヵ年平均	520	356	393	352	331	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	450	390	400	400	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、熊本、高知。12月の低温で出荷量が減っているが、2月は毎年需要も減るため、価格の変動は見られない。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
マ	19年	940	352	338	342	387	熊本 45%
	20年	859	334	336	349	318	愛知 33%
	21年	884	310	319	302	310	三重 15%
	22年	866	352	377	340	338	岐阜 6%
	23年	896	296	271	296	329	
ト	5ヵ年平均	889	329	328	326	337	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	850	350	400	350	330	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は熊本、愛知、三重。生育はおおむね順調だが、入荷量が減っている。熊本では中旬から下旬にかけて、作型の違うものが出荷されるようになる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ミ	19年	190	764	784	751	750	熊本 49%
	20年	215	716	711	760	681	愛知 34%
	21年	206	689	736	668	662	和歌山 12%
	22年	244	685	707	659	688	
	23年	237	687	676	696	691	
ト	5ヵ年平均	218	706	720	705	693	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	230	675	650	675	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は熊本、愛知、和歌山。12月に曇りが続いたため、玉は大きくなるが、着果があまり良くないため、少なめの出荷で価格も上がると見られる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並み見込み。</p>					

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	19年	2,308	405	439	384	389	高知 63%
	20年	2,151	439	514	438	385	福岡 18%
	21年	2,240	378	442	341	358	熊本 6%
	22年	1,825	445	490	437	404	佐賀 6%
	23年	2,033	404	387	398	429	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	2,111	413	454	398	392	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	2,000	400	410	400	390	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き西南暖地からの入荷が中心となる。高知の生育は寒波と天候不順により遅れている。福岡は、年内は順調であったが年明けの低温・曇天の影響で生育停滞。入荷量は少なかった前年並で、価格も前年並の見込み。</p>					
							
ト マ ト	19年	4,754	381	358	379	421	熊本 33%
	20年	4,882	355	366	360	341	栃木 15%
	21年	4,954	359	369	344	366	愛知 15%
	22年	4,722	398	412	391	389	福岡 5%
	23年	5,105	333	317	327	357	(愛知産比率 15%)
	5カ年平均	4,883	365	364	360	374	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	4,850	350	340	350	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、栃木からの入荷が中心となる。熊本の生育は低温の影響で着色が遅れている。愛知の生育も年明け以降の冷え込みで色回りが悪い等の影響が出ている。栃木、福岡も同様の傾向である。入荷量は、前年をやや下回り、価格は、前年をやや上回る見込み。</p>					
							
ミ ニ ト マ ト	19年	796	732	763	709	718	熊本 36%
	20年	845	715	746	748	651	愛知 23%
	21年	875	670	756	628	619	千葉 12%
	22年	929	680	693	659	692	宮崎 11%
	23年	954	672	656	682	681	(愛知産比率 23%)
	5カ年平均	880	692	720	684	672	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	880	680	730	680	660	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き熊本、愛知からの入荷が中心となる。熊本、愛知とも寒波により生育と着色は遅れている。2月前半はまだ少なめの出荷となるが後半には回復する見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	19年	411	640	764	584	578	鹿児島 42%
	20年	341	805	729	839	849	宮崎 41%
	21年	363	695	816	665	608	高知 18%
	22年	346	723	775	694	701	
	23年	362	623	643	619	608	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	364	694	746	676	664	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	360	670	700	650	650	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は鹿児島、宮崎、高知。12月の低温の影響で数量が減っているが、中旬から下旬にかけて戻る見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	19年	3,276	120	120	116	124	北海道 46%
	20年	3,640	107	98	104	122	鹿児島 40%
	21年	3,471	105	115	104	97	長崎 14%
	22年	2,894	136	126	137	151	
	23年	2,622	168	153	169	187	(愛知産比率 0%)
いしょ	5カ年平均	3,181	124	120	123	133	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	2,800	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は北海道、鹿児島、長崎。北海道は貯蔵物が主だが、全体的に小玉傾向。鹿児島は生育も順調で、L玉中心。長崎は上旬には出荷が終了する見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	19年	4,219	95	95	95	95	北海道 80%
	20年	5,150	74	74	75	74	アメリカ 13%
	21年	5,947	68	66	75	64	静岡 5%
	22年	4,641	115	122	118	102	中国 1%
	23年	3,980	129	134	138	116	
ねぎ	5カ年平均	4,787	93	95	97	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	4,500	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は北海道、静岡。北海道は地域差もあるが、全体的にまずまずの出荷量が見込まれる。静岡は生育順調で、品質も良い。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	19年	1,291	679	788	615	621	宮崎 35%
	20年	1,170	870	875	890	847	茨城 28%
	21年	1,155	733	845	709	643	高知 21%
	22年	1,134	732	768	703	723	鹿児島 15%
	23年	1,251	634	661	622	617	(愛知産比率 -%)
マ	5カ年平均	1,200	727	786	705	688	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,140	680	660	680	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地と茨城からの入荷が中心となる。宮崎の生育は低温の影響で花付きは不良気味、曇天で肥大も鈍い。茨城も寒さが影響し出荷は少ない状況は続く。高知も肥大が遅れている。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ばいしよ	19年	7,506	114	115	115	111	北海道 59%
	20年	9,348	96	93	96	101	鹿児島 23%
	21年	7,982	108	109	108	108	長崎 18%
	22年	7,624	140	134	138	155	
	23年	7,855	156	147	159	166	(愛知産比率 -%)
い	5カ年平均	8,063	122	119	122	127	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	8,200	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、鹿児島、長崎からの入荷が中心となる。北海道は貯蔵量は持っているが市況次第の出荷となる。長崎は前年よりやや増、鹿児島は収量はやや減となる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回るものの平年並の価格推移となる見込み。</p>					
たまねぎ	19年	8,589	104	102	105	106	北海道 72%
	20年	10,168	85	83	85	87	米国 16%
	21年	9,457	87	84	90	88	静岡 7%
	22年	8,051	145	143	145	150	中国 3%
	23年	8,437	143	142	143	145	(愛知産比率 0%)
ね	5カ年平均	8,940	111	109	112	113	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	8,800	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>春先まで北海道中心の入荷が続く。北海道は需要に合わせた計画出荷体制となり平年レベルの量を持っている。静岡は低温の影響で玉伸びが鈍いが旬を追うごとに出荷は増える。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	19年	13,025	304	286	323	307	フィリピン 17%
	20年	10,419	370	364	371	379	青森 15%
	21年	12,505	292	277	299	301	愛媛 14%
	22年	10,922	315	313	316	316	愛知 14%
	23年	10,825	293	291	287	305	
	5カ年平均	11,539	313	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	10,800	270	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は青森、愛媛、愛知。りんごは数量が少なく、価格も高めで推移する見込み。かんきつは大玉傾向だが、数量は少なめ。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
か ん き つ	19年	4,712	269	271	265	276	静岡 26%
	20年	6,675	172	168	177	175	愛媛 23%
	21年	4,875	228	236	234	215	愛知 12%
	22年	5,422	191	198	186	195	アメリカ 10%
	23年	4,082	302	296	317	300	
	5カ年平均	5,153	225	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	4,500	230	230	230	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は静岡、愛媛、愛知。みかん同様に大玉傾向で、今年は表年ではあるものの、数量は少なめ。いよかんやはさく等が減って、デコポンやネーブル系の品種が増えてきている。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
い ち ご	19年	1,126	1,195	1,269	1,121	1,203	愛知 57%
	20年	1,283	1,024	1,275	1,065	850	熊本 21%
	21年	1,194	1,003	1,101	957	956	鹿児島 8%
	22年	1,099	1,027	1,038	1,004	1,045	三重 7%
	23年	1,186	1,021	1,129	1,002	945	
	5カ年平均	1,177	1,052	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,150	1,050	1,050	1,050	1,050	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、熊本、鹿児島。近年品種や販売規格が多様化してきている。産地の高齢化で作付面積も全国的に減ってきており、今後も出荷量は少ないまま推移する見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	19年	37,958	405	476	374	441	青森 17%
	20年	43,899	313	296	236	316	静岡 16%
	21年	39,363	335	330	339	335	愛媛 15%
	22年	41,283	312	297	316	332	フィリピン 11%
	23年	34,582	400	392	403	408	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	39,417	350	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	41,000	310	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>「りんご」、「いちご」中心に「いよかん」「不知火」など晩柑類の入荷が本格化する。「いよかん」「不知火」は不作で少なかった昨年を上回る見込み。みかん類は静岡産の終了により中旬以降減少する。入荷量は不作だった前年を大幅に上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
りんご	19年	5,852	261	271	257	259	青森 94%
	20年	6,470	248	245	251	248	秋田 4%
	21年	7,537	201	198	202	205	岩手 1%
	22年	6,886	224	220	226	231	長野 1%
	23年	6,309	232	234	232	230	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	6,611	232	232	232	233	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	5,500	325	325	325	325	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森から「ふじ」の貯蔵もの中心に入荷する。産地在庫は前年より少なく高値安定基調であるため、前倒しぎみに出荷されている。果実は昨年より小玉傾向であるが、食味は良好である。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
いちご	19年	4,184	1,247	1,271	1,201	1,263	栃木 34%
	20年	4,952	1,061	1,279	1,092	889	福岡 17%
	21年	4,314	1,103	1,190	1,059	1,065	佐賀 14%
	22年	4,331	1,124	1,058	1,145	1,197	茨城 13%
	23年	4,756	1,068	1,119	1,084	1,005	(愛知産比率 3%)
	5カ年平均	4,507	1,117	1,184	1,114	1,076	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	4,800	1,100	1,200	1,050	1,050	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木中心に福岡、佐賀、茨城などから入荷。年末からの冷えこみで各産地ともに生育が遅れ入荷量が少ない。栃木、茨城は低温で着色が進まず山谷の少ない出荷。福岡、佐賀は曇天と低温で出荷が遅れ中旬にまとまって出る予想。入荷量は前年並と見込まれ価格は前年をわずかに上回る見込。</p>					

切花・鉢花の2月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 1月28日現在）

単位：千本、円/本

品目	実績等	区分	入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
輪 ぎ	実 績	19年	2,323	61	
		20年	2,442	60	
		21年	2,247	48	
		22年	1,979	54	
		23年	1,701	47	
	5ヶ年平均	2,138	54		
24年見通し	1,900	50			
概要	愛知、沖縄、三重などから入荷。2月は昨年並みの作付けでありあまり変わらない。作柄についても比較的順調に推移。若干寒さも影響すると思うが極端な変動はないと思う。実際に影響があるのは上旬くらいで、中旬からは安定した出荷状態で推移する。				
小 ぎ	実 績	19年	1,440	41	
		20年	1,533	32	
		21年	1,234	35	
		22年	1,117	31	
		23年	1,121	32	
	5ヶ年平均	1,289	35		
24年見通し	1,300	32			
概要	沖縄を中心に入荷。1月は比較的気温が高く、やや前進傾向にあった（沖縄）。今期の作付けは昨年とほぼ変わらない状況で順調に推移している。ただ下旬くらいに作付けの関係から、やや少なくなりそう。その分やや相場は高くなる見込み。品質については今のところ問題ない状態。				
カー ネー ション	実 績	19年	1,270	39	
		20年	1,190	44	
		21年	1,204	35	
		22年	1,060	38	
		23年	1,036	38	
	5ヶ年平均	1,152	39		
24年見通し	1,150	40			
概要	愛知を中心に和歌山、長野から入荷。全体的に曇天傾向が続いているため、入荷は少なめで、底堅い動きになる。				
か す み	実 績	19年	273	52	
		20年	198	91	
		21年	274	43	
		22年	191	63	
		23年	167	61	
	5ヶ年平均	221	60		
24年見通し	185	60			
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。前半は少なく、気候による出荷数量の波がある。相場は業務中心に後半より卒業式などのイベントも始まり、3月の節句に向け、動きも良くなる。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	19年	310	186	
		20年	336	196	
		21年	277	180	
		22年	232	197	
		23年	257	187	
	5ヶ年平均		282	189	
	24年見通し		280	190	
概要	高知、埼玉、愛知、静岡からの入荷。オリエンタルは前半から後半に向け、1月の遅れ分により増加するが、全体的には少なめの入荷。鉄砲、L Aは入荷は少なく、業務中心に動き、相場は堅調。				
洋 ら ん	実績	19年	312	92	
		20年	377	92	
		21年	365	73	
		22年	324	80	
		23年	464	61	
	5ヶ年平均		368	78	
	24年見通し		480	65	
概要	高知、徳島、愛知を中心に輸入物が入荷。1月は年末から低温と日照が十分でない日も多く全体的には入荷量は少なかったが、2月入ると徐々に増加してくる。例年1月後半から2月にかけての市況は低調であるが、2月も低温が続く見込みで大きな値崩れはないと予想される。				
ば ら	実績	19年	760	81	
		20年	742	94	
		21年	763	79	
		22年	748	86	
		23年	691	82	
	5ヶ年平均		741	84	
	24年見通し		750	80	
概要	愛知、三重、岐阜、和歌山などから入荷。重油の価格高騰など栽培経費も上がり、生産は苦しい状況で、入荷量は減少傾向。プライダルも少なく、イベントが少ないため、フラワーバレンタインに期待したい。				
枝 も の	実績	19年	1,644	45	
		20年	1,822	44	
		21年	1,514	40	
		22年	1,367	46	
		23年	1,500	48	
	5ヶ年平均		1,569	45	
	24年見通し		1,650	45	
概要	花物、芽吹き物が多く入荷する2月。長野、静岡が中心となり、市場を賑わす。特に3月の桃の節句に向け、花桃が多く出荷される。気温が高ければ、価格は乱降下しそう				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
工 力	実 績	19年	19,938	249	
		20年	15,939	193	
		21年	14,227	197	
		22年	13,857	218	
		23年	14,438	234	
	5ヶ年平均		15,680	220	
	24年見通し		15,000	200	
概要	<p>入荷量はやや増加か。夏場の影響もなく、順調な仕上がり。ポット物を中心とした入荷となりそう。単価は中値安定か。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位新潟(44.6%)、2位静岡(28.7%)、3位愛知(7.9%)となっている。</p>				
プ ラ ム	実 績	19年	452,970	99	
		20年	334,570	84	
		21年	364,342	93	
		22年	314,227	87	
		23年	270,668	114	
	5ヶ年平均		347,355	95	
	24年見通し		270,000	95	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。ポット物～小鉢を中心とした入荷となりそう。単価はやや厳しそう。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(34.2%)、2位奈良(17.8%)、3位埼玉(9.3%)となっている。</p>				
チ ュ ー リ ッ プ	実 績	19年	82,034	179	
		20年	98,621	146	
		21年	72,720	152	
		22年	71,483	156	
		23年	64,271	184	
	5ヶ年平均		77,826	162	
	24年見通し		65,000	150	
概要	<p>入荷量はやや増加か。芽出しのポット物から促成栽培の6号鉢ものまでは幅広くありそう。単価はやや厳しそう。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(43.6%)、2位埼玉(39.3%)、3位長野(4.9%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	19年	100,165	242	
		20年	72,994	248	
		21年	69,462	237	
		22年	65,202	273	
		23年	76,930	254	
	5ヶ年平均		76,951	250	
	24年見通し		70,000	250	
概要	<p>生産減から入荷量はやや減少か。3月の需要期に向けて、2月後半から入荷が最盛期となる。単価は昨年並みか。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位埼玉(28.6%)、2位愛知(20.3%)、3位三重(11.9%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	19年	76,952	173	
		20年	53,881	154	
		21年	65,335	134	
		22年	65,220	164	
		23年	60,020	169	
	5ヶ年平均		64,282	159	
	24年見通し		60,000	150	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。白単色の引き合いは厳しいので、色物のミックス出荷を望む。単価は昨年並みか。 昨年2月の主要県の集荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(31.6%)、2位静岡(24.4%)、3位岐阜(16.3%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	19年	50,411	782	
		20年	47,273	733	
		21年	42,917	733	
		22年	35,521	813	
		23年	38,127	680	
	5ヶ年平均		42,850	748	
	24年見通し		38,000	650	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。3号～大鉢まではば広くありそう。ただ、まとまったロット品種が少なく、ミックス品の出荷となりそう。単価は厳しそう。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(50.5%)、2位岡山(11.2%)、3位高知(6.5%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2011年)

1 輸入実績

品名	1 1 月						1 1 月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	64,108	94.5	5,625,076	69.8	88	73.9	759,015	129	70,732,082	117	93	90.8
トマト	366	139.0	117,317	135.8	321	97.7	2,624	103	809,218	90	308	87.5
たまねぎ	34,094	103.6	1,038,704	88.4	30	85.3	342,618	135	13,111,002	122	38	89.8
にんにく	1,200	83.3	127,520	37.9	106	45.5	17,435	111	3,051,970	105	175	94.4
ねぎ	3,452	63.8	372,909	59.8	108	93.6	48,188	121	4,623,452	122	96	101.2
ブロッコリー	2,049	40.8	298,749	36.3	146	88.9	35,151	107	5,661,592	102	161	95.4
結球キャベツ	1,080	45.1	25,737	32.9	24	73.0	25,619	157	807,107	133	32	85.0
にんじん・かぶ	4,106	53.0	143,746	49.0	35	92.5	75,476	141	3,423,849	151	45	107.4
ごぼう	3,958	104.8	189,398	69.3	48	66.1	40,786	137	2,986,617	179	73	130.9
えんどう	139	106.2	39,850	72.4	287	68.2	1,866	111	546,918	119	293	106.9
アスパラガス	1,334	82.9	795,571	85.5	596	103.1	11,295	113	5,900,021	117	522	103.7
まつたけ	128	22.2	451,798	25.0	3,530	112.6	1,202	68	5,681,199	102	4,726	150.4
しいたけ	480	108.5	130,649	112.6	272	103.8	4,330	106	1,135,361	110	262	103.4
かぼちゃ	6,916	415.6	469,082	467.2	68	112.4	97,381	117	6,266,239	112	64	95.5
果実(生鮮・乾燥)	138,987	94.1	17,478,199	98.5	126	104.7	1,733,435	107	203,472,678	107	117	99.8
バナナ	86,138	90.4	5,257,991	87.2	61	96.5	985,373	105	67,046,768	103	68	98.3
パイナップル	8,919	73.1	520,328	70.9	58	97.0	139,329	120	8,541,740	116	61	97.3
レモン	3,377	135.0	379,390	124.7	112	92.3	48,436	116	5,008,362	95	103	82.1
オレンジ	3,344	37.3	312,360	30.3	93	81.2	111,450	108	10,300,448	100	92	93.1
グレープフルーツ	8,959	203.0	897,131	234.5	100	115.5	149,892	99	12,590,268	91	84	92.0
メロン	2,465	84.8	219,595	93.0	89	109.8	30,798	119	2,891,433	113	94	95.1
ぶどう	3,412	302.7	835,108	297.2	245	98.2	14,294	156	2,908,174	178	203	114.0
キウイ	4,448	89.7	2,146,598	75.5	483	84.2	65,842	107	21,033,156	103	319	96.4
いちご	415	55.6	346,780	58.5	836	105.2	3,332	128	2,674,413	127	803	99.2
切花(生鮮・乾燥)	3,680	99.2	2,485,920	87.8	676	88.5	39,236	112	27,613,553	107	704	95.3
鳥獣肉類	171,790	127.5	74,728,635	133.5	435	104.7	1,706,769	118	743,973,852	121	436	102.7
牛肉(くず肉含む)	47,904	142.7	19,153,582	142.3	400	99.7	472,512	117	192,582,967	118	408	100.6
豚肉(くず肉含む)	76,563	136.2	40,165,735	136.1	525	100.0	725,620	115	380,574,137	115	524	100.0
鶏肉	40,384	104.9	10,732,202	118.1	266	112.5	425,875	122	118,097,924	150	277	122.2
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	206,280	130.4	113,169,621	137.1	549	105.2	1,627,203	113	904,144,280	120	556	106.7
まぐろ類	20,071	97.2	15,725,457	123.8	783	127.3	186,804	104	163,938,303	118	878	114.0
さば・さんま・あじ・いわし	30,732	231.8	7,131,805	295.8	232	127.6	85,138	120	16,135,160	138	190	115.1

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	3,315	89.8	1,115,831	102.6	337	114.2	17,623	91	6,052,682	93	343	102.3
うんしゅうみかん	1,118	121.5	116,834	150.5	105	123.9	2,329	200	323,009	162	139	81.3
りんご	2,068	155.7	932,957	203.0	451	130.4	13,313	90	4,368,340	103	328	114.8
なし	46	56.4	24,676	55.8	536	99.0	506	81	264,718	83	523	102.5
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	126,006	45.2	-	-	586	-	1,902,781	82	3,245	-
緑茶	158	72.7	324,079	82.5	2,051	113.5	2,167	119	4,215,842	121	1,945	101.2

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100) (愛知県 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	23年 7月	99.7	95.1	99.9	99.7	100.8
	8月	99.9	93.4	101.3	99.6	101.9
	9月	99.9	101.4	88.8	99.8	101.9
	10月	100.0	111.2	92.2	99.7	100.1
	11月	99.4	90.3	94.8	99.4	99.9
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	23年 7月	99.6	96.2	103.3	101.6	103.7
	8月	99.7	93.4	102.5	102.8	104.4
	9月	99.9	104.7	95.3	105.1	104.6
	10月	100.0	114.4	93.3	102.0	104.1
	11月	99.3	91.0	93.4	98.8	101.5

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
22年平均	22年平均	95.7	98.0	100.7	91.5	98.5
	23年 7月	98.8	86.3	111.9	151.9	101.9
	8月	91.7	86.8	92.5	105.8	101.6
	9月	99.1	90.8	114.7	93.4	101.3
	10月	107.4	97.2	137.3	103.7	99.0
	11月	98.1	97.9	93.6	135.9	98.1

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシカ り」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
22年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
23年 7月	1,812	172	175	675	288	329	152	329	175	537	628	167	516
8月	1,828	106	161	693	308	297	141	354	195	491	566	164	-
9月	1,883	122	212	748	756	267	178	344	210	601	645	193	-
10月	1,987	169	291	759	572	300	217	363	205	628	925	186	-
11月	2,058	133	142	619	331	299	138	317	213	553	637	178	503
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
22年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
23年 7月	-	278	354	-	219	800	541	146	161	287	224	835	453
8月	-	285	383	-	226	798	542	155	173	294	230	853	436
9月	753	280	382	-	239	734	532	149	165	296	236	862	428
10月	524	272	391	-	225	691	544	158	190	308	229	841	422
11月	466	240	395	-	210	646	521	150	164	295	219	756	398

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 464
平成24年2月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417